



Sudy & Co., Ltd.

1119 Budapest, Mernok u. 39. Tel/fax: +36-1-209-04151

ハンガリー経済情報 2016年4月号

経済指標

ハンガリー経済研究所（GKI）によると **GDP 成長率**は2015年の+2.9%と比較し、2016年は+2.3%に減速する見通し。輸出や投資の低迷が加速を抑えるという見込みである。2017年には加速が予想されている。

シーヤールトー外務貿易相は2015年におけるハンガリーの**貿易収支**は81億ユーロ（前年：63億ユーロ）、輸出は907億ユーロ（前年比7.4%増）であったと発表した。また、輸入は前年比5.6%増の826億ユーロであったが、原油価格の下落によって低く抑えられた旨を付言した。

失業率は、2015年11月～2016年1月の期間中は6.2%まで下がった。これは前年比1.2パーセントポイント低い。ハンガリー経済研究所の調査によると熟練労働者の不足は建設業のみではなく、サービス業や製造業にも影響を及ぼす。

2015年には**総賃金**は4.2%上昇。2016年には4.5～4.7%の上昇が予想される。

インフレ率は、2015年通期では-0.1%であったが、2015年12月～2016年1月の期間では前年同期と比較すると1%上回る。世界市場での原油低価格により2016年のインフレ率は0.8%、2017年には2%の見通し。

財政状況

株式会社日本格付研究所（JCR）は、2016年2月16日にハンガリーの信用格付の見通しを「安定的」から「ポジティブ」に変更した。経済はより堅実な成長に回帰し、金融システムにも小幅な改善がみられることを理由に挙げている。また、財政赤字は12年以降GDP比3%を下回り、政府債務残高もGDP比で緩やかに縮小している。経常収支も黒字が10年から継続し、対外流動性の安定とともに対外債務残高も縮小している。依然多額のリファイナンスを抱えているが、民間や政府部門の対外債務削減によって外的ショックに対する脆弱性も改善している。

また、大手格付け会社ムーディーズは、格付け、見通しともに「ポジティブ」に据え置くと発表した。同時に大手格付け会社S&Pは、ハンガリーの格付け、見通しともに現状の「安定的」で据え置くと発表した。S&Pはその背景として高水準の政府債務、政策決定の低い予見可能性、弱い潜在成長力を指摘した。格上げにはこれらが将来的に改善する見通しが示されることが必要との見解を示した。

ハンガリー経済関連ニュース

■シーヤールトー外貿相外国資本投資案件の増加発表

シーヤールトー外貿相は2015年にハンガリー投資促進庁（HIPA）が扱った外国資本投資案件は67件であり（前年比12%増）、総額14億ユーロ規模だった旨を発表した。これらの投資案件により2014年比21%増の13,000人が雇用された。産業別では最も多い17件が自動車関係、12件がシェアードサービス関係、7件が情報技術関係に関する投資であった。同相は、ハンガリーの人口1人あたりFDI流入額は8,263ユーロで、中東欧地域では現在、チェコに次いで2位となっているが、将来的にはこの地域で首位の座を獲得することを目標としていると付言した。

■ ヴァルガ国家経済相：国家工業化戦略「イリニ計画」を発表

ヴァルガ国家経済相は国家工業化戦略「イリニ計画」を発表した。GDP に占める工業生産の比率を現在の 23.5%から将来的に 30%まで高めることを目標とした。同相は、ハンガリーはイノベーションをベースとする経済ならびに最先端技術や研究開発分野による工業化を進めていく必要があると述べた。今後強化すべき業種として自動車、特殊機械、健康・医療、食品、IT、グリーンエコノミー、防衛を掲げている。

ハンガリー自動車産業関連ニュース

■ 2月の新車販売台数：前年同月比 12.3%増

2月の国内新車販売台数は前年同月比 12.3%増の 6,625 台であった。1~2月期ブランド別トップはスズキ自動車 (1,363 台)、次いでオペル (1,358 台)、3位がシュコダ (1,219 台) であった。モデル別でのトップはスズキ・ヴィターラ (1,033 台) だった。

■ 独系アウディ社：2015 年は記録的な年に

独系アウディ社は 2015 年の利益は前年比 10%増の 79 億フォロントだったと発表した。2015 年ジュール工場はエンジンを 220 万基、乗用車を 16 万台製造し、それぞれ前年より 2.2%、15.6%上回った。

■ 独系メルセデス社：ケチケメートに新工場建設を計画

独ダイムラー社は子会社であるメルセデス・ハンガリー社の新工場をケチケメート市に建設することを検討中である旨を発表した。新工場には 2.5 億ユーロを投資し、次世代コンパクトカーの車体を生産する。この投資によってダイムラー社が行ったハンガリーへの投資総額は 13 億ユーロとなる。

また、2月には同社のケチケメート市の工場における車の生産台数が 2012 年 3 月 29 日の生産開始以来 50 万台を突破したということを発表した。

■ 独系自動車部品メーカーがケチケメート市へ進出

シーヤールトー外務貿易相は二つの独系自動車メーカーが総額 100 億フォロント規模の投資をケチケメート市に行く予定であると述べた。企業名は明確にされなかったが、当企業は政府からの補助金 12 億フォロントを受けて自動車部品を製造し 160 人の雇用を予定すると発表した。投資プロジェクトは 2016 年の春期に開始され約 1 年で終了する予定である。投資の一つは既存工場の拡張であり、もう一方はグリーンフィールド投資であると考えられている。

■ 韓国サムスン社：ハンガリーに自動車バッテリー工場建設を計画

韓国サムスン社がグドゥ市（ブダペスト北部約 30km）に欧州向け自動車用バッテリー工場を建設することを明らかにした。サムスン社はかつて同市に工場を持ち、2014 年に工場を閉鎖するまでの間、プラズマテレビ用部品を製造していた。サムスン社は昨年オーストリアのバッテリー・パック製造工場を買収しており、グドゥ市はその工場と近いことがメリットであると指摘している。

■ シーヤールトー外務貿易相：中国の自動車メーカーの新規投資を発表

シーヤールトー外務貿易相はブダペストにて開催されたハンガリー・中国合同経済委員会終了後、中国の自動車メーカー 2 社が 3,000 万ユーロ規模の投資を行い 600 人の雇用を創出することを発表した。同相は詳細を明確にしなかったが、1 社は追加投資、もう 1 社はグリーンフィールドの投資であり、共にハンガリー西部で実行されると述べた。

日本ハンガリー二国間およびハンガリー国内の日系企業関連ニュース

■ ファゼカシュ農相：FOODEX JAPAN 2016 視察等のため訪日

ファゼカシュ農相はFOODEX JAPAN 2016 の視察等を目的に訪日した。ハンガリー産フォアグラの輸入を行う東西産業貿易株式会社と面談したほか、豚肉業界関係者の会合にも出席し、マンガリツァ豚など高品質なハンガリー産農産物を紹介した。また、15 のハンガリー企業が出展したFOODEX JAPAN 2016 も訪問し、マンガリツァ豚等の輸入を行う双日食料株式会社と面談した。それ以外には農林水産省を表敬訪問し、佐藤農林水産政務官と会談した。農相は 2017 年にハンガリーで開催される国際農業・食品見本市の主賓として日本を招待する意向を発表し、森山農林水産大臣を招待した。

■ マジャール・スズキ社：HIPA パートナーシップ特別賞を受賞

HIPA（ハンガリー投資促進庁）は、その年に最もハンガリー経済の発展に貢献した外資系 CEO に対して賞を授与しており、2 回目となる 2015 年はマジャール・スズキ社の竹内代表取締役社長が「HIPA パートナーシップ特別賞」を受賞した。2015 年の増産がローカルサプライヤーやハンガリーの中小企業の発展に大きく貢献したことを授与の理由に挙げている。

■ ハンガリー投資促進公社：ミツバ株式会社が新規投資の援助

2015 年 11 月にハンガリーのシャルゴータルヤーン市（Salgótarján）に既に拠点を持つミツバ株式会社が新規投資を発表した。発表された新規投資の規模は 1, 352 万ユーロであり、この投資により生産能力は倍増、雇用は 150 名拡大する予定である。この投資に対してハンガリー政府は 2. 67 万ユーロを援助すると発表した。

■ ミキハウス、高額衣料を充実

「ミキハウス」のブランドで子供服を製造販売する三起商行（大阪府八尾市）は富裕層を対象にした高額衣料を充実させる。8 月に税別で 15 万円のダウンコートと 10 万円のカシミヤのセーターを発売する。同社の商品としては最も高くなる。原材料や人件費の上昇が進むなか、付加価値を高めて国内の富裕層や訪日客の需要を取り込む。ダウンコートは最高級のハンガリー産のホワイトグースダウンを輸入し、国内の工場で洗浄したうえでコートに縫製する。同社の製品でこれまで最も高いダウンコートは 8 万 5 千円だった。コートは 30 点、セーターは 50 点の数量限定とする。「高付加価値化を進めて、日本発の高級ブランドをめざす」（木村皓一社長）

弊社関連ニュース

■ ハンガリーのワインが「サクラアワード」金賞を受賞

ロイヤルトカイワイナリーの「レートハーベスト 2014」が日本最大のワインコンクールで金メダルを獲得した。「サクラアワード」は日本のワイン業界で活躍する女性で構成される審査員により最も優れたワインを選ぶ国際ワインコンペティション。35 カ国から選ばれた 3543 種類のワインの中から受賞が決定した。「レートハーベスト」の日本発売元であるリンベル社は、今回の受賞を受け、より一層の販売数の増加を期待している。弊社はこのワインの日本市場向け仲介業に携わっており、今回の賞の受賞を非常に誇りに思う。

参考および出所：

<http://www.mofa.go.jp>

<http://www.hu.emb-japan.go.jp/>

<http://hipa.hu/>

<http://www.jcr.co.jp/release/pdf/15i00737HG.pdf>

http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ11HNF_R10C16A3TI5000/